

「今の時代に学ぶ」

千里鶯啼いて 緑紅に映ず 水村山郭 酒旗の風

厳しかった冬が過ぎ、ようやく春を迎える季節になりましたが、それでも令和6年能登半島地震で被災された方々にとってはまだまだ厳しい状況が続いていると思うところです。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と安全をお祈りいたします。

災害は忘れたころにやってくると言われていますが、今は定期的に地震が起こり、被害が出ているように思います。このデジタル時代。停電となり、水が不足しているという被害地の話を聞くと何かできることはないのかと思ってしまうます。肅々と義援金を募り、贈ることが最善なのかとも思っています。

本会は創立90周年記念大会を令和5年10月に関西地区、11月に中国地区、令和6年に入り、2月に東京東海地区、3月九州地区で実施してまいりました。それぞれの大会は大いに盛り上がりました。担当いただいた先生方に感謝です。これらの大会をきっかけに、各地区において新入会員・再入会員への呼び水になればと期待しているところです。

今、会員獲得に大いに期待しているのはホームページです。本会のホームページの取り組みは早く、すでに20年が経過した老舗です。そのホームページに最近多方面からの問い合わせが



総本部会長 古田 哲壮

きているという報告がありました。杜甫作「春望」が中学生の教科書に掲載されたこともあり、最近はアクセス数が増加しており、ホームページで教場を探し入会したケースもあるのとこのことでした。

また、過日、本会のホームページをみて、漫画家たかの歩先生から教本の一部を使用させて欲しいと本部に問い合わせがありました。「いいですよ」と返事をしたところ、12月初旬、本会の教本「川中島」が掲載された漫画のメールが総本部に送られてきました。たかの歩先生の「さくらと介護とオニオカメ」という作品でした。たかの先生は宮城県で「介護イメージアップ事業」という企画が持ち上がり、その中で、介護漫画を作成し、本会の教本を掲載させてもらったとのことでした。これも公益事業の一環ではと思っています。

まさに継続は力なりです。ホームページを継続的に随時更新する関係者の皆さんの努力に感謝いたします。高齢の会員のなかにはパソコンはむずかしいと言われますが、今はスマホですぐ見ることができます。本会のホームページは「知る」「学ぶ」「楽しむ」のコーナーがあり、「YouTube」で詩吟も聞けます。教場一覧もあります。ぜひ活用してください。「今の時代に学ぶ」ことが吟友を増やす活路になればと思っています。